

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	4
事業名	生活支援体制整備事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 5
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施 策	3-3 高齢者福祉の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業 目的	対象	地域住民、NPO、事業者等	目的（対象がどのような状態になっているか）	生活支援コーディネーターを配置するとともに、協議体を設置し、高齢者を支える地域の支えあいの体制づくりを推進する。さらには、各地域において元気な高齢者をはじめ、住民主体の活動やNPO、民間企業等多様な主体による、高齢者の日常生活を支援する多様なサービスの提供体制を構築することにより、高齢者が活躍する街づくりができる。
事業内容	- 生活支援コーディネーターの配置・・・社会福祉協議会へ委託し2名配置。 - 協議体の設置・・・生活支援体制整備事業の推進に必要な事項を提案し協議する。 - 地域支えあい活動支援事業・・・支えあい活動団体に対し、立ち上げ経費を補助する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	住民主体による介護予防・地域支えあい活動登録団体数	27	28	34	団体	↑	24	
	2	地域支えあい活動登録団体数	17	17	20	団体	↑	28	
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				8,459		9,092		9,437	
財源 内訳	直接事業費A			7,667		8,300		8,645	
	うち一般財源			7,667		1,909		1,989	
人件費（千円）B				792		792		792	
内訳	一般職員（人・千円）			0.12	792	0.12	792	0.12	792
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。また、地域支えあいの深化をより推進するため、生活支援コーディネーターの効果的な活動圏域設定について検討する。	③取組の課題	地域主体で取り組みを進める必要があるため、時間を要する。
②R5年度に実施した取り組み	生活支援コーディネーターを中心に地域の取り組みに対し支援を行い、居場所づくりや地域での支えあい活動が広がりがつつある。	④今後の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。また、地域支えあいの深化をより推進するため、生活支援コーディネーターの効果的な活動圏域設定について検討する。